

私立大学情報教育協会
平成26年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

C-1班:チーム仲良C(し～)

1

C-1班[チーム仲良C(し～)]の紹介

- ・ 男性4人・女性4人の仲良し8人組です。
- ・ 研修を通して、結束しました。
- ・ この8人が今後の大学を支えています！

2

発表テーマ

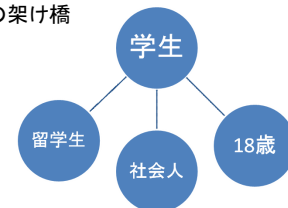
「ニーズに合わせた大学教育」を通じて
「人材育成」を実現し、「国力の向上」に貢献する。

3

「ニーズに合わせた大学教育」を通じて
「人材育成」を実現し、「国力の向上」に貢献する。

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割
・ 学生と社会との架け橋



役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか
・ 時代のニーズに合わせた大学力の創造

4

「ニーズに合わせた大学教育」を通じて
「人材育成」を実現し、「国力の向上」に貢献する。

テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

- ・ 成績は優秀だが、就職してから躓いてしまう学生が多く、卒業後の正規雇用者が少ない(45%が非正規雇用者)
- ・ 学んだことを就職してから活かしていない(活かしている学生1割)
- ・ 海外へ留学する日本人の減少(8.3万人をピークに5.8万人に)

役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

1. 質の高い学びの場の提供
2. 国際感覚の涵養
3. キャリア教育の充実

参考資料: 大学職員情報化研究講習会～応用コース～開催報告
ユネスコ文化統計年鑑等

5

「ニーズに合わせた大学教育」を通じて
「人材育成」を実現し、「国力の向上」に貢献する。

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？
・ 国内外で通用する人材の育成



「ニーズに合わせた大学教育」を通じて
「人材育成」を実現し、「国力の向上」に貢献する。

6

「ニーズに合わせた大学教育」を通じて
「人材育成」を実現し、「国力の向上」に貢献する。

問題点の深堀

質の高い学び場の提供	学生の学習意欲が低い	社会に出てからも学べる場が少ない	学生の授業の怠慢 成績評価の公平性 授業での提供レベルを上げる
国際感覚の涵養	外国人と話す機会が少ない	外国人留学生在が地域になじめない	チューター制度の不足
キャリア教育の充実	産学連携の不足	社会経験積む機会が少ない インターンシップ参加者が少ない	入学前から就職を意識した学生の増加 キャリアデザイン授業が少ない

7

「ニーズに合わせた大学教育」を通じて
「人材育成」を実現し、「国力の向上」に貢献する。

解決策の検討

	教員への働きかけ	地域社会への働きかけ	大学としての取組
質の高い学び場の提供	学生の学習意欲が低い →学生参加型の授業の実施(LTD、クリッカー等の使用) →教員による授業の質の向上	社会に出てからも学べる場が少ない →生涯学習、公開講座、通信教育を実施 →社会人教育の質を高める	学生の授業の怠慢 →学則の厳格化 成績評価の公平性 授業での提供レベルを上げる →ゼミの基準を設ける →学部内ゼミコンテストの実施
国際感覚の涵養	外国人と話す機会が少ない →チャットルームの設置	外国人留学生在が地域になじめない →外国人学生と交流等 →フレンド制度の充実	チューター制度の不足 →参加型の授業増加、留学生と日本人学生の交流、留学支援の充実
キャリア教育の充実	産学連携の不足 →教員の専門分野を発展	社会経験積む機会が少ない →企業との製品共同開発等の実施 インターンシップ参加者が少ない →1、2年生からの参加可能に	入学前から就職を意識しすぎた学生 キャリアデザイン授業が少ない →就職後のイメージができる授業の実施

8

「ニーズに合わせた大学教育」を通じて
「人材育成」を実現し、「国力の向上」に貢献する。

大学のイノベーションの提案

・提案の概要

学部・学科を越えた全学的教育プログラムの実現

・何を問題として捉えたか

現在の教育では、ニーズに合わせた人材の育成ができていない

・これを解決・実現するために、どのようなアプローチが必要か。

- 職員の役割・・・職員が積極的に潤滑油として働く
- 解決策実現のためのハードルと、その打開策



教職協働

・解決されたときの姿(どのような状況になれば目的が達成されたといえるのか?)

- ・世界で活躍する人材を社会に送り出すこと。

9